

## オープンウォータースイミング三重オープン2023尾鷲

### ■競技について

本競技会は、「(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」(以下「OWS 競技規則」)  
則り実施する(一部、ローカルルールを適用する)。

### ■スタート時刻

・7月2日(日)

09:30 3km・5km の部・男子スタート(女子は5分後にスタート)  
13:30 1km の部・男子スタート(女子は5分後にスタート)

### ■スケジュール概要

・7月1日(土)

10:00～ クリニック 受付開始  
10:30～12:30 OWS ジュニアクリニック開催(講師:東翔氏)  
13:00～ 公式練習 受付開始  
14:00～15:00 公式練習 終了  
17:00～18:00 競技説明会(オンライン Zoom)

・7月2日(日)

6:00 大会可否判断後 三重県水泳連盟 HP・OWS MIE OPEN OWASE HP に掲載  
7:15～ 8:45 3km・5km 受付⇒健康チェックシート提出⇒ナンバリング⇒計測用リストバンド配布  
8:15～ 9:00 3km・5km アップ  
9:10～ 3km・5km 招集・競技説明会  
9:15～ ビーチクリーン・開始式  
9:30(予定) 3km・5km 男子スタート(女子は5分後にスタートする)  
【制限タイム】 5km トライアル 1時間30分／一般5km 2時間20分  
3km 1時間30分  
11:00～12:00 1km 受付⇒健康チェックシート提出⇒ナンバリング⇒計測用リストバンド配布  
12:30～13:00 1km アップ  
13:00～ 1km 招集・競技説明会  
13:30(予定) 1km 男子スタート(女子は5分後にスタートする)  
【制限タイム】 1km 40分

### ■前日 受付

日 時 : 7月1日(土) 13:00～

場 所 : 三木里海水浴場特設会場 (選手受付場所)

- ・提出物 : 健康チェックシート(各自でHPからダウンロード)
- ・配布物 : AD カード

## ■公式練習

日 時：7月1日(土) 14:00～15:00 指定エリア (ライフセーバー指示に従う)

- ・公式練習の前に受付を済ませ、必ず AD カード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。  
(但し、コース準備の進捗状況、気象状況等によっては予定を変更することがある)
- ・コース周回泳は時計回りとし、逆泳は禁止とする。  
なお、ゴールエリア設営中につき、設営状況によっては使用できない場合もある。

## ■監督者会議 (Zoom オンライン会議)

日 時：7月1日(土) 17:00 開始

- ・本会議はオンライン会議(Zoom)にて実施する。参加 URL、ミーティング ID、パスワードは、後日HP にアップ(6月26日掲載予定)
- ・会議中参加者はミュートにて参加して下さい。(発言の際は ON にて発言)
- ・監督者会議資料は、各自でHPからダウンロードし、事前に熟読しておくこと。  
**※なお、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用予定の為、予め Zoom をインストールしておくこと。**

## ■大会当日 開場・選手受付 (受付時間はスケジュール概要を参照)

場 所：三木里海水浴場特設会場 (選手受付場所)

日 時：7月2日(日) 選手：7:15～開場

- ・提出物：健康チェックシート(各自でHPからダウンロード)
- ・配布物：本人確認し、AD カード発行・プログラムを配布する。
- ・ナンバリングは各自でおこなう。場所と向きに注意しながらマジックで書き込む。  
一人で参加の選手は担当係員に相談すること。  
※記入マジックは、実行委員会にて準備する。

## ■招集 \* 受付時間

- ・ナンバリングを行ってから大会参加健康チェックシートを持参し招集を受ける。
- ・招集にて競技で着用する水着(トライアル選手のみ)、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、  
装飾品(ジュエリー類)チェック、ナンバーチェックをおこなう。
- ・水着チェックの際は、着用していても持参しても構わない。Fina マークが見えるように提示すること。  
(該当する選手は日本選手権トライアルの選手)
- ・手足の爪の手入れをし、装飾品(ジュエリー類)を取り外してから招集を受ける。
- ・日本選手権トライアル選手以外は水着に Fina マーク無でもかまわない。ウエットスーツ着用も認める。  
**※初めて海を泳ぐ選手には、補助浮き具(セーフティブイ)の装着を認める。(希望者は受付時に申告)**
- ※トランスポンダーを1選手につき2つ配布する。招集までに両手首に装着すること。  
(ビニールテープを使用する場合は各自で用意すること。)
- ・トランスポンダー両腕手首に装着をおこない、ナンバリングが消えてないか確認後、招集を受ける。
- ・選手招集の際は、AD カードを持参すること。
- ・審判長からの最終ブリーフィング後、選手入場は、競技役員の指示に従いビーチ待機位へ移動する。
- ・ビーチ入口「選手 AD デスク」に AD カードを置いてビーチ待機位置へ移動する。
- ・サンダルやセーム等の荷物をビーチ待機位置まで持っていく者は、選手個人袋もビーチまで持参する。
- ・ビーチではディスタンスを考慮し一人ずつ立ち、互いの距離を保って待機する。
- ・マスク・サンダルを含めた全ての個人手荷物を選手個人袋に入れる。
- ・選手個人袋(名前記入)に入れずにビーチに残された荷物は全て処分し、選手には返さない。

## ■大会当日 ウォームアップ

招集・競技説明後、競技役員の指示に従い行う。

## ■お願い

- ・競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- ・応援はホイッスル、メガホン等の拡声機材は使えない。

## ■スタート

- ・スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ・選手はスタートライン(ロープ)の前に位置し、後ろ手(片手)でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・審判長のホイッスルの後、スターターのホーン(フラッグの振り下ろし)によりスタートする。

## ■ラップゲート

- ・ラップゲートを設置。ゴール以外の周回は必ず通過すること。

## ■フィニッシュおよび途中退水

- ・ゴールタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。(手のひらで確実にタッチすること)
- ・タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュと認められない。
- ・フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。
- ・レース途中でトランスポンダーを紛失しても左右どちらかに1個のトランスポンダーが装着されていればフィニッシュと認める。トランスポンダー2個紛失の場合はフィニッシュと認めない。
- ・競技途中で退水(リタイア)をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。  
また、ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

## ■表彰

- ・表彰は、1位から3位に賞状・メダルを授与し表彰する。
- ・表彰式はおこなわない。ただし1位～3位はフォトセッションを予定。
- ・男女それぞれ4位～8位入賞者に表彰状を授与する。
- ・各競技終了後、大会本部にて各自で賞状を受け取る。(ADカードを持参すること)

## ■荒天時の対応

- ・競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日朝 6:00を目処に、(一社)三重県水泳連盟ホームページ内 OWS 委員会にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じくHPにて通知する。

## ■その他

(1) OWS 競技の水着(日本選手権トライアル選手適用)

- ・(公財)日本水泳連盟「水泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規定」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

[https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r\\_k16\\_20190310.pdf](https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_k16_20190310.pdf)

- ・本年度の日本選手権参加授与書類は後日発送します。(2023年11月4日～5日)

(2)安全について

- ・(公財)日本水泳連盟「OWS 競技に関する安全対策ガイドライン」に則り実施する。  
[https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g\\_03.pdf](https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g_03.pdf)
- ・(公財)日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- ・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

(3)本大会中は、既設シャワーを利用することができる。

(4)日本選手権トライアル選手のウエットスーツ着用規定は「OWS 競技規則」の付則の通りとする。水温は参考値として、大会当日気温・海水温度測定を実施、競技前に通知する。

以 上